

参考図書

(その1)

ドクトル・マサ

収集を始めた頃は、何を参考にして集めたら良いのかが分かりませんでした。お店の方の情報だけではよく分かりませんでしたので何か参考になる書籍はないのかなと思っていたところ『日本貨幣カタログ』（写真1）という書物を見つけました。

同書は日本貨幣協同組合が編集し毎年発行しているものです。初版発行は昭和四二年四月一日で、今回で五七版となる歴史のある書籍です。確かに子供の頃、その当時どこにでもあった百貨店の切手・古銭売場で同書は売っていた記憶があります。昔の本は、今の装丁とは違い、立派な表紙が付いていたと記憶しております。最近では、東京コインショーの時期に売り出されるのが常となっております。

日本の貨幣が皇朝銭から古金銀、近代銭、現行銭、記念貨幣までの全てが網羅されている書籍で、これを見ながらお店や催事に行つて目的のコインを探すのが楽しみでした。

現在は、毎年記念貨幣や現行銭が発行されるので、その分を一年ずつ更新する関係でかなりのボリュームが増えていきます。ひと昔前は、あまり記載されている内容に変化が無いので数年に一度これを購入すればよいとい

う方も多かつたと思います。かく言う私もその一人でした。確かにその頃は近代銭の評価や手变りの記載には変わった所は見受けられませんでした。

ただ最近では手变りの認識やオークションが増えたためか、価格評価も毎年のように変わってきております。また巻末に特集を組んであるのも楽しめます。そのため、このところは欠かさずに毎年、購入しております。

近代銭や現行銭収集の最初は、やはり年号別にコインを集めるのが主だと思えます。ただ同じコインでも発行枚数が違つたりとかで、価格評価が変更してきます。このような年号別収集は、米国のコレクションのパターンに似ています。

米国で初めてコインが造られたのは一七九三年で、最初の収集家は、フィラデルフィアのジョセフ・ミッケレイだと言われております。一八一七年に彼の生まれた年の一七九九年の大聖一セント貨を集めたのが起源で、その後他の年号を集めていったという話です。これ以来、米国は額面を変えての年号別収集が定着したとこのことです。

一方、欧州では古代ローマ人がギリシャのコ



【写真1】